

## 想いが重なった嬉しさ

小牧 智 看護学生1年 青山キャンパス

私は工学部の大学院を出て化学メーカーでプラスチックフィルムの開発に携わっていました。ところが、震災の経験と親の病気を通して『大好きな地元を最期まで自宅で暮らせる地域にしたい』と思うようになりました。『たとえ治らない病気があったとしても、病気と付き合いながら生きることを支えたい』と考え、34歳と、決して若くない年齢ですが看護師を目指しています。私が持っているイメージと同じものが藤野さんから伝わってきて、ワクワクしながら聞いていました。

自宅で最期まで暮らすために、私は「生活と医療」の両方の視点から考えることができる看護師の職種に興味を持ちました。

看護師の可能性は工夫次第で大きいと考えています。そんな私なので、「町にかかりつけナースを創るために」というテーマについて深く興味をもって聞いていました。そして、「プライマリケア」の担い手として、「プライマリケアチームとしての看護師」の話に心が揺さぶられました。

看護師がミニ医者のようになるのではなく、看護師の本来の特性である「その人の生きる力を出せるように環境を整え、回復する力を引き出す」ことを十分に活かすことが大事だと。

その人の生きる力を取り戻すために、看護師はプライマリケアのチームメンバーとして重要な役割を果たせると。

私は最近、看護師の進路に迷いが生じていました。

看護師としての強みの「生活の中の医療」という視点を身に着けるために看護師を目指しているはずだったのに、どこか中途半端になっていることを感じていました。藤野さんの話を聞くことができ、改めて「生活の中の医療」の視点が大事で、かかりつけナースが活躍し、コミュニティーデザインに繋がられるよう頑張りたいと思うことができました。

講義が終わってからのお蕎麦屋さんでの話も非常に楽しかったです。

「藤野さんが看護師の仕事が好きで、今の仕事を本当に楽しんでいる」ことが伝わってきました。藤野さんの話から『本質は同じところに辿り着く』ということを感じました。

藤野さんがスタッフ・利用者さんのためにと考え工夫していることは、聞いているこちらも楽しくなるようなことばかりでした。

例えば、ちょうどスタッフの子供さんが昨日誕生日だったので、スタッフ総出でお祝いメッセージの動画を作ってプレゼントしたり、毎日の朝礼で「スタッフ同士で感謝のシェア」をしたり、「ハッピープロジェクト」といって毎月1000円以内なら利用者さんを喜ばせるために何を買ってもいいルールがあり、会社のお金で購入できる、などなど、利用者さんだけでなくスタッフのことを大事にしていることが伝わってきました。

これらの取り組みは、「働きがいのある会社」として有名で4年連続でGPTWの賞を受賞してい

乃木坂スクール #9「発信力を磨き・想像力を磨いて、医療を変える・福祉を変える」

受講日:2015/6/11(木) 第9回 藤野 泰平先生

る NPO フローレンスの「ピカリハット」という取り組みと共通するものがありました。ピカリハットとは、危険予知のヒヤリハットの「良かった版」で、「その日一番輝いていたのはあなたですよ」とスタッフが伝えるものです。

AP カンパニーの「1テーブル 500 円以下で、残った食材を再調理して提供してお客さんに喜んでもらう」仕組みにもよく似ていると思いました。AP カンパニーは、居酒屋の塚田農場などを営みつつ6次産業化を進めスタッフもお客さんも満足度が高く有名企業です。

藤野さんが、これら有名な「働きやすい企業」が取り組んでいることをご存じなく、独自に考えて辿り着いたことを聞いて驚きました。

藤野さんは、「社長の仕事は、みんなが働きやすい環境を整えること。そのためにつなげるのが楽しい」と言われました。私が尊敬するライフネット生命の出口会長は、こうっています。

「経営者の仕事は大きく2つ。メンバーが毎朝、会社に行きたくなるような楽しい組織をつくる。楽しければ必ずいいアイデアが生まれますから。これが9割。そして、残りの1割は、メンバーが分からないことをはっきり決めてあげる。これだけですよ。」

このような仕事の姿勢を、藤野さんが自分の経験の中から見出されている、というのが本当にすごいと思いました。

藤野さんの話を聞きながら、真剣に考えると『本質は同じところに辿り着く』のだ、と痛感しました。

男性看護師と少数派だからこそ受けてきた苦い経験に対してどう向き合ってきたのかという話も凄く勉強になりました。今後の私も看護師としての専門性をしっかりと磨くとともに、どのような壁にあっても、困難を乗り越えられるようになりたいと思います。

藤野さんのお話を聞きながら、描きたい将来のイメージがすごく似ているなあと、誠に僭越ですが感じていました。そしてそのイメージに向かって既に実際に形となって動き始めている藤野さんを本当にすごいと思いました。同時に僕にとってのモデルにもなるので話を聞いていてワクワクしました。

しかも、その形・内容が、なお今も発展し続けているのでさらに嬉しかったです。

私も藤野さんのような看護師になって、そして藤野さんが提供しているようなサービスを私の地元でも提供できるようになって、同じ職場のみんなも利用者も、そして利用者の家族もみんなが幸せになれることをしたいと考えています。

お話を直接聞くことができ本当に嬉しかったです。

ありがとうございました！！